

「海の出前授業」派遣レポート

- ・都道府県 東京都
- ・派遣先（学校名） 東京都 羽村市立武蔵野小学校
- ・授業タイトル みんなの海
- ・講師名 森岡 優志（海洋研究開発機構アプリケーションラボ）
- ・派遣年月日 2021年9月27日

派遣者コメント

昨年度に引き続き、東京都の羽村市立武蔵野小学校において、4年生約80名を対象に、海の出前授業を2コマ（90分）行いました。緊急事態宣言中でしたので、検温、マスク、手洗いなどを実施し、体育館の窓を開けて、児童が間隔を空けて座った状態で、授業を行いました。オンラインでの授業と異なり、児童の表情が1人ずつ分かるので、児童の理解度に合わせて授業を進行できて良かったです。

羽村市立武蔵野小学校は、笹川平和財団の海洋教育パイオニアスクールプログラムに採択されており、マイクロプラスチックゼロアクションに力を入れております。マイクロプラスチックを運ぶ海の流れが私たちの暮らしにどのように関わっているのか、前半の授業では、水産や海運など分かりやすい例を挙げて、クイズ形式で確認していきました。また、回転水槽を使った流れの実験を動画で見せて、同じ深さをゆっくりと流れる海の様子を体験してもらいました。

後半の授業では、東京都に台風が近づいていることもあり、海と天気の間わりについて説明を行いました。台風が熱帯の温かい海からやってくるように、海の水温が天気に重要な役割をしていることを伝えました。最近では地球温暖化の影響で、海の水温が上昇しており、天気がおかしくなっていること、さらに、二酸化炭素を吸って海が酸っぱくなっていること、など話をしました。

羽村市立武蔵野小学校の近くには玉川上水があり、児童が川に親しみをもっています。山で降った雨が川を通して海まで流れていることを想像しながら、海に行けなくても、海をまもるために川で何ができるか、最後に一緒に考えました。水の循環の視点で海の授業をすると効果的だと、校長先生から教えていただきました。

最後になりますが、海の出前授業を依頼してくださった、羽村市立武蔵野小学校の関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

